

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液検体）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液検体）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	経カテーテル的肺動脈弁留置術の予後に関わる因子の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 第二内科 助教 赤澤 祐介
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2033 年 3 月 31 日
対象となる方	2023 年 3 月から 2028 年 3 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち経カテーテル的肺動脈弁留置術を受けられた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、先行手術情報、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、心電図検査データ、心エコー図検査データ、心臓カテーテル検査データ、治療状況 等 (利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料（血液検体）
研究の概要 (目的・方法)	当院で経カテーテル的肺動脈弁留置術による治療を受けられた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集、実態調査を行い、検査後に残った試料（血液検体）を検討することで、経カテーテル的肺動脈弁留置術の安全性・有用性やその予後、留置した弁の劣化（弁寿命）に関わる因子を調査します。本研究の結果は、経カテーテル的肺動脈弁留置術による的確な治療戦略の選択に役立つものと考えております。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳

	<p>重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院 第二内科 赤澤祐介</p> <p>791-0295 愛媛県東温市志津川 454</p> <p>Tel: 089－960－5303</p>